



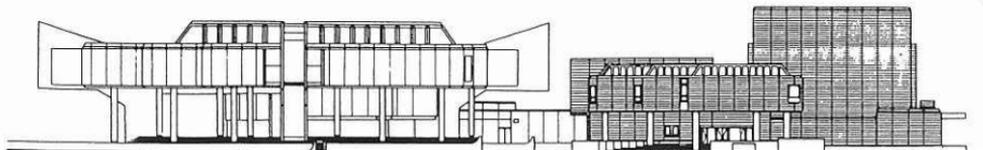
線刻画 7世紀 武雄市北方町 永池古墳（武雄市教育委員会寄託）
二人の人物や犬のような動物が描かれている

佐賀県立博物館・美術館報

SAGA PREFECTURAL MUSEUM · SAGA PREFECTURAL ARTMUSEUM

25 March 2006

No. 136



展覧会報告

特別展「発掘された日本列島2005」と地域展「肥前国風土記の世界」を終えて

昨年11月27日に閉幕した平成17年度の特別展を簡単に振り返ることにしたい。

1 はじめに

今年度の特別展「発掘された日本列島2005—新発見考古速報—」は文化庁が企画する日本最大の考古速報展である。この展覧会は主に前年度中に全国で実施され、注目を受けた発掘調査の中から選りすぐられた遺跡・遺物が全国7ヶ所ほどを巡回し紹介され、考古ファンが毎年待ち望む定評のある展覧会である。また、この全国巡回展に加え、各開催館独自の地域展がセットとして開催されるためかなりボリュームのあるものとなる。平成7年度から始まり、今年度は11年目を迎え、都道府県レベルでいえば全国のほとんどで開催されいまま定番の展覧会になった感があるが、実は佐賀県と富山県の2県だけが未開催であった。

今年度は7月12日から平成18年3月2日までの江戸東京博物館を皮切りに富山県埋蔵文化財センター、福島県野馬追の里原町市立博物館、佐賀県立博物館、飯塚市歴史資料館、愛知県一宮市博物館、千葉県立中央博物館の全国7ヶ所を会場とし、最後の未開催の2県も登場する巡回展となった。

当館はその4番手として11月1日から27日まで開催することになった。そして、佐賀の地域展は「肥前国風土記の世界」として8世紀の古代佐賀にスポットを当てる企画にした。



奈良県黒山古墳の大型埴輪

2 全国展の見どころ

全国展は速報展とテーマ展の二部構成である。前者は主に昨年実施された全国約7000ヶ所の遺跡発掘調査の中から、旧石器時代から近世（江戸時代）まで、時代と地域を考慮しながら25の遺跡が選定された。7千分の25であるから正に選りすぐりである。後者のテーマ展は全国史跡整備市町村連絡協議会（全史協）の創立四十周年記念事業の「現代によみがえる遺跡」として北海道から沖縄までこれまた代表的な10遺跡が集められた。

このように、すべての遺跡が目玉であることは言うまでもないが、企画をした文化庁では奈良県法隆寺若草伽藍跡とキトラ古墳を速報展の見どころの筆頭に上げた。「小さな壁画片が百年論争に決着」、「保存のための最新科学」などのキャッチコピーで各巡回会場で大きな話題をさらひ佐賀に乗り込んできた。また、古墳時代の奈良県黒山古墳の大型形象埴輪も見ごたえがあった。

これに加え、速報展では福岡県久留米市正福寺遺跡、長崎県佐世保市門前遺跡、大分県直入町長湯横穴墓群、テーマ展では長崎市出島阿蘭陀商館跡、沖縄県



奈良県キトラ古墳の石室模型

今帰仁城跡など九州沖縄の遺跡も充実していた。特に、東京会場から話題になっていた正福寺遺跡の4000年前の編み籠、佐賀会場から初めて展示された石斧が装着されたままの縄文時代の直柄石斧（国内初出土）などは見学者の目を奪っていた。

3 地域展「肥前国風土記の世界」

地域展の「肥前国風土記の世界」は「肥前国風土記」と発掘調査による出土資料を合わせて、現在の佐賀、長崎両県の前身である肥前国が成立した8世紀頃の様子をわかりやすく展示したものである。

肥前国の中心であった肥前国片跡は約30年前から佐賀県教育委員会や地元の大和町によって調査と史跡整備が行われ昨年9月19日に開園した。このことがもともと大きな企画の理由だったが、そのほかにも10月1日にほぼ風土記に記される佐嘉郡の範囲に大和町も含め合併した佐賀市をはじめ、平成の市町村合併で大きく変わりつつある現在の行政区分を8世紀の風土記の世界に照らして改めて認識するよい機会でもあった。

地域展は、①肥前の土蜘蛛と荒ぶる神々、②肥前国

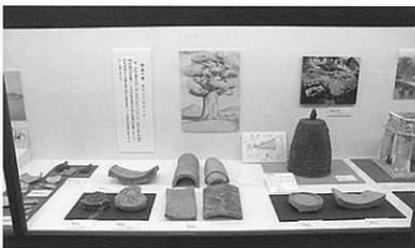


地域展の状況

誕生、③肥前西海道に行く、の三部構成である。

①では、中央勢力に抵抗しあらぶる神々や土蜘蛛とよばれた肥前国成立前の古墳時代の人々をテーマにした。②では7世紀末頃に成立した肥前国を大宰府や肥前国片跡の出土品を中心に展示した。③では「肥前国風土記」に記される肥前国の様子を示す出土遺物を東から西に郡単位に展示した。特に③のコーナーでは神埼、佐賀(佐嘉)、松浦、杵島、藤津などの現在の郡の名称が風土記の時代そのままに続いていることが再認識され、また、展示した文字資料の中に「養父」「神埼」「藤津？」など風土記に記された地名そのものがあり、1200年前の文字でありながら、現代の我々でも読めるほどほとんど変わらない書体が観覧者に驚きを与えていた。また、風土記に記された地名が以外に多く残っていることがわかり、平成の大合併で伝統的な地名が失われている昨今、「地名」も貴重な文化財であるとい

う意見が多く寄せられた。



地域展の展示 (佐嘉の郡)

4 関連事業について

展示会に合わせ毎土曜日14時30分からギャラリートークを行なうなどできるだけ展示解説を行なった。また、地域展に合わせ、肥前国府周遊(11月5・12日)、基肄城探検(11月6日、雨で中止)、佐用姫探訪(11月13日)と4回の史跡探訪会、2回の講話(「肥前国風土記の神々」11月3日、「肥前国の軍事と防衛」12日)、博物館セミナー(「秋の特別展の楽しみ方」11月10・11日)、子ども土曜クラブ(「苦の県庁に行こう」11月19日)など会期中にできるだけ関連事業を行なったがいずれも好評であった。

このように会期中の土日のほとんどを関連事業にあてたが、これまでのように数百人を集める講演会では



展示解説

なく数十人を対象にした事業を数多く実施した。しかも会場ではなく外だけで行なう史跡探訪会も行なったが、地元教育委員会や県教委と共同実施であったが、今後の事業のあり方として、有効な方法の一つであろう。

(学芸課 資料担当係長 家田淳一)

調査ノート

平成17年度特別展アンケート結果報告

—アンケートにみる観覧者の傾向—

○はじめに

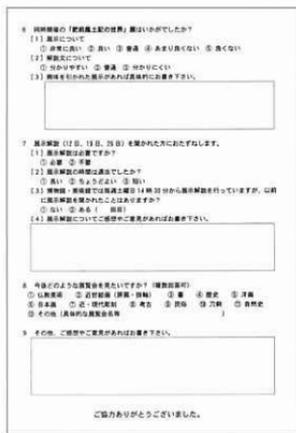
佐賀県立博物館では毎年企画展で観覧者にアンケートを取り、集計は行うものの、その結果について分析することはなかった。そこで、アンケートの結果から、観覧者が望んでいることを探り、今後の参考にするため自分なりの分析を試みた。

○アンケートの実施

平成17年度特別展「発掘された日本列島2005」は全国の発掘調査の成果を見ることができる考古の展覧会で、佐賀で初めて開催された。11月1日から27日の期間中で5366名の観覧者があった。アンケートを行ったのは期間中の土日(12・13・19・20・26・27日)と祝日(23日)の7日間、1779名の観覧者から531名の回答(回答率29.8%)を得た。全観覧者からみると、ほぼ1割の意見なので、どこまで観覧者の意向を反映しているか疑問もあるが、傾向を探ることはできると思う。

○アンケートの質問項目

使用したアンケート用紙は以下の通り。自由記入欄を設けたが、あまり記入しただけなかった。



アンケート裏

○アンケートの結果

アンケートの集計をグラフ化したものは別頁の通り。県内と県外で集計し、グラフには1~30の番号を付した。

グラフ1を見ると、県内と県外の来館者の比率は3対2であるが、男女比は約半々である。これは今回の特別展が性別を問わないものであったといえる。ちなみに昨年の企画展「よみがえる肥前刀」の男女比は3対2であった。

グラフ2・3を見ると、来館者の7割が佐賀地区(約8割が佐賀市)であることが分かる。杵地区からの来館者が人口(佐賀県の人口の約20%)のわりに少ないのは、やはりその距離であろうか? 広報の程度は佐賀市を除くと、他地区間の差はないので、杵地区から来館者を招く工夫が必要である。県外(グラフ17)では福岡、長崎、熊本の3県で県外来館者の約8割を占めている。来館者の年齢や来館頻度(グラフ4・5・18・19)を見ると、県外の小中高校生の割合が低いこと以外は、県内外でさほど差はない。県内では、観覧料無料の小中高校生の割合が少ないのは、内容が難しかったためであろうが、同時開催の地域展「肥前



アンケート表

「国風土記の世界」は県内市町村の由来や伝説を紹介し、小中学生向けの内容を含んでいただけない残念で、「こどもにも紹介して欲しい」という来館者の意見もあった。

特別展を知ったきっかけ（グラフ6・7・20・21）を見ると、「ポスター・チラシ」の割合が高い。特別展開催以前に佐賀新聞紙上で「古代の神々 肥前国風土記を読む」（全6回）を連載、朝日新聞に特別展の資料が紹介（全5回）されたのだが、新聞の影響は意外に少ない。また、佐賀市内で8,200戸に無料配布される情報誌「ぶらざ」を広報に利用したが、その結果が県内で3%、県外で1%であったのは効果があったといえるのだろうか。「友人から誘われて来た」という来館者も多く、まず、来館していただくことが大切である。「学校でレポートを課せられた」という大学生もいて、今後大学への広報も必要であろう。



11月19日の「こども土曜クラブ」
肥前国風土記の世界をイラストで紹介

特別展の満足度（グラフ8～12、22～26）を見ると、「非常によい」と「よい」で8割を超え、来館者は概ね満足したといえる。興味のひかれた展示物を記す設問には、あまり記入がなかったが「キトラ古墳の復元」が多かった。また、地域展でも、当館学芸員が「肥前国風土記」を挿絵風に描いたイラストが好評で、小さくて未復元の資料などより、ひとめで分かりやすい展示品が来館者の興味をひいていたようである。入場料金は「普通」と答えた人が8割で最も多く、「安い」とした人もいたが、「高い」も1割を超えている。これは他会場と比べると入場料金が少々割高なので、仕方ないところかもしれない。

展示解説（グラフ13～15、27～29）については県内外ともに、「必要」と9割以上、時間も「ちょうどよい」と8割近くの来館者が答えている。その一方で今年度

から、当館で毎週土曜に行っている常設展等の展示解説を、聞いたことがある来館者は2割未満と少なかった。また、「展示解説があるのを知らなかった」「常時解説をして欲しい」と、展示解説を求む意見がある一方、「静かに鑑賞したいので、必要ない」という意見もあり、広報を含めて展示解説の有り方を考える必要がある。

今後望む展覧会（グラフ16・30）については、今回の特別展からして、考古を望む声が大半を占めると予想していたが、それに反して、歴史や美術の希望も多かった。県内・県外とも要望する展覧会の割合は大方同じ傾向が見られるものの、特に県外の方に考古を望む声が多かったのは印象的であった。

自由に記入していただいた感想・意見では、「キャプションの字が小さい」「資料の展示レイアウトが悪い」「発掘現場の写真が見たい」等の展示方法に関する意見や「国宝が見たい」「書が見たい」「現代彫刻の展示を見たい」等の展覧会の企画内容への要望、「風土記を小・中学生に教えて欲しい」「学校と連携があれば展示がいきる」等の博物館活動に対する提案などがあつた。

○むすびにかえて

2年続けて企画展副担当として、企画展のアンケートを実施したが、昨年はその結果を踏まえた分析や報告をしなかった。そこで今回はアンケート結果をまとめ、自分なりに分析し、一定の結果が得られた。今後はアンケート結果をもとに来館者の動向や要望をくみ取り、入館者の増加につながる展覧会のあり方についても考えていきたい。



11月23日（水祝）の展示解説 築山古墳出土の大型埴輪

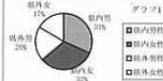
（学芸課 主事 北島稔久）

「発掘された日本列島2005」展アンケート結果（県内）

1 あなたの(1)性別・(2)住所・(3)年齢を教えてください

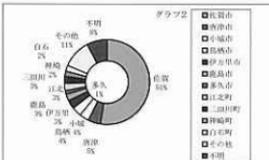
(1)性別

県内男性	168
県内女性	170
県外男性	165
県外女性	88



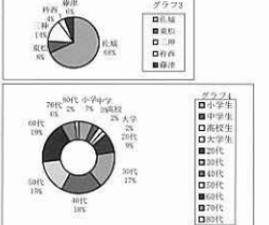
(2)住所

佐賀市	177	82	93
唐津市	16	7	6
小城市	13	7	6
五城市	12	6	6
伊万里市	11	6	6
藤島町	9	4	5
多久市	4	2	3
江北町	10	5	5
三田川町	9	0	3
神埼町	7	5	3
白石町	7	2	5
その他の	31	20	17
不明	26	17	9



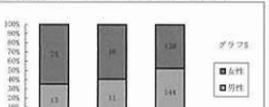
(3)年齢

小学生	22	6	16
中学生	103	41	62
高校生	7	4	3
大学生	7	1	6
20代	50	9	41
30代	37	21	58
40代	62	30	92
50代	52	24	76
60代	64	29	93
70代	21	12	33
80代	6	8	14



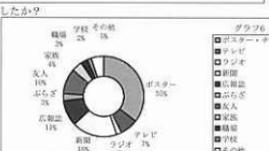
2 これまでに佐賀県立博物館・美術館において行ったことはありますか?

初めて	131	54
2回目	31	16
3回目	141	136
佐賀市	141	136
初めて	7	11
2回目	6	11
3回目	69	72



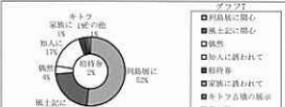
3 この企画展を何で知りましたか?

ポスター・チラシ	137	88	49
テレビ	27	13	14
ラジオ	8	4	4
新聞	69	35	34
放送局	41	22	19
ぶらさ	10	5	5
友人	40	19	21
家族	16	7	9
雑誌	10	3	7
学校	7	1	6
その他	19	12	7



4 「発掘された日本列島2005」展を観覧になったきっかけは何ですか?

お風呂に浴衣	219	123	96
お風呂に浴衣	93	46	47
偶然	114	5	110
友人に誘われて	72	25	47
招待券	10	3	7
家族に誘われて	3	3	0
ネット上で知った	6	2	4
その他	3	3	3



5 今回の「発掘された日本列島2005」展はいいがでしたか?

非常にいい	107	53	54
いい	160	75	82
普通	66	35	31
あまりよくない	2	2	0
よくない	1	1	0



(1)展示について

なかなかない	173	89	84
普通	147	67	80
なかなかいい	10	6	4



(2)解説文について

非常にいい	41	25	16
いい	207	127	130
普通	23	11	12



6 同時開催の「肥前土佐の世界」展はいいがでしたか?

非常にいい	88	45	37
いい	160	75	82
普通	67	35	31
あまりよくない	2	1	1
よくない	0	0	0



(1)展示解説は必要ですか?

必要	70	34	38
不要	5	4	1



(2) 展示解説の時間は適切でしたか?

長い	9	6	3
ちょうどよい	49	26	23
短い	3	1	2



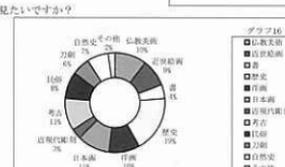
(3) 以前に展示解説を見たことはありますか?

ない	55	27	28
ある	13	9	4



8 今後どのような展覧会を見たいですか?

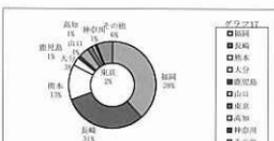
仏教美術	69	31	36
近世絵画	58	29	29
洋画	32	13	19
歴史	122	70	52
芸術	67	29	41
日本画	70	29	41
近現代美術	22	9	13
考古	21	4	24
近代	69	28	25
刀剣	40	31	9
自然史	46	25	21
その他	11	6	5



「発掘された日本列島2005」展アンケート結果（県外）

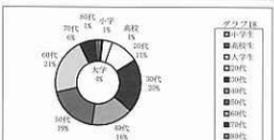
〔2〕 住所

	男性	女性
福岡	74	309
長崎	60	29
熊本	25	11
大分	6	2
鹿児島	2	0
山口	7	6
徳島	4	1
高知	2	1
神奈川県	2	1
その他	11	9



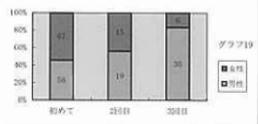
〔3〕 年齢

	男性	女性
小学生	3	0
高校生	1	0
大学生	7	4
20代	21	10
30代	39	23
40代	31	16
50代	27	21
60代	41	20
70代	12	7
80代	2	0



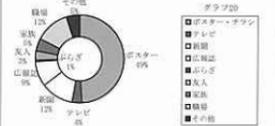
2. これまでに佐賀県博物館・美術館においでになったことはありますか？

	男性	女性
初めて	56	67
2回目	19	13
3回目	30	6



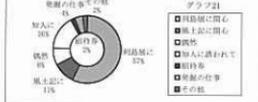
3. この企画展を知りましたか？

	男性	女性
ニュース番組	79	37
テレビ	6	3
新聞	19	11
図書館	15	7
友人から	7	0
友人	5	2
家族	8	3
雑誌	20	11
その他	3	2



4. 「発掘された日本列島2005」展を御覧になったきっかけは何ですか？

	男性	女性
同僚に誘われて	133	71
親戚に誘われて	25	10
関係	19	8
知人に誘われて	28	12
招待券	5	2
会社の仕事	9	1
その他	3	1



5. 今回の「発掘された日本列島2005」展はいかがでしたか？

〔1〕 展示について

	男性	女性
非常によい	49	28
よい	89	44
普通	12	20
あまりよくない	4	0
よくない	0	0



〔2〕 解説文について

	男性	女性
わかりやすい	102	60
普通	81	30
わかりにくい	3	0



〔3〕 入場料金について

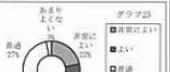
	男性	女性
高い	21	18
普通	138	83
安い	20	11



6. 同時開催の「肥前肥後の世界」展はいかがでしたか？

〔1〕 展示について

	男性	女性
非常によい	37	20
よい	82	40
普通	47	20
あまりよくない	2	2
よくない	0	0



〔2〕 解説文について

	男性	女性
わかりやすい	76	42
普通	83	47
わかりにくい	4	0



7. 展示解説を聞かれた方におたずねします。

〔1〕 展示解説が必要ですか？

	男性	女性
必要	39	24
不要	2	0



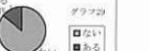
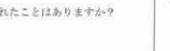
〔2〕 展示解説の時間をどうでしたか？

	男性	女性
長い	3	1
ちょうどよい	24	11
短い	1	0



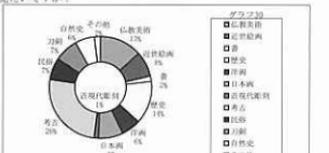
〔3〕 以前展示解説を聞かれたことはありますか？

	男性	女性
ない	30	14
ある	5	2



8. 今後どのような展覧会を見たいですか？

	男性	女性
伝教書	39	14
肥前肥後	24	12
歴史	5	1
歴史	40	26
洋画	18	7
仕事	23	11
近現代美術	4	2
考古	70	35
自然	20	12
洋画	22	10
自然	18	7
その他	6	4



今後の展覧会の予定 《博物館・美術館主催による展覧会など》

- 企画展** 会場：美術館2・3・4号展示室 観覧料：有料
平成18年10月27日(金)～11月26日(日) 「肥前路を行く—江戸時代の佐賀の道—」
- 常設特別展** 会場：美術館2・3号展示室 観覧料：無料
平成18年7月14日(金)～9月3日(日) 「探検!!美術館—名作を探せ!—」
平成18年12月1日(金)～12月24日(日) 「佐賀の染織—更紗・緞通・錦—」
- 博物館 テーマ展示** 会場：博物館3号展示室 テーマ展示コーナー 観覧料：無料
平成18年4月11日(火)～5月14日(日) 「一年一作 松尾忠次」……工芸
平成18年5月16日(火)～6月25日(日) 「錦絵にみる明治」……歴史
平成18年6月27日(火)～8月6日(日) 「鍋島緞通の美」……工芸
平成18年8月8日(火)～9月20日(水) 「生き物のふしぎを見ようIV」……自然
平成18年10月12日(木)～12月3日(日) 「岡田三郎助」……美術
平成18年12月5日(火)～1月14日(日) 「発掘された佐賀II」……考古
平成19年1月16日(火)～2月25日(日) 「岸派の画家・天岳」……美術
平成19年2月27日(火)～4月8日(日) 「くじら物語—絵巻物にみる江戸時代の捕鯨」……民俗
- 美術館 「玉手箱」** 会場：美術館1号B展示室 観覧料：無料
(博物館・美術館が所蔵する選りすぐりの名品を紹介します)
平成18年4月11日(火)～5月21日(日) 「埋められた経典・大和築山瓦経」
平成18年5月23日(火)～7月2日(日) 「蘇った絵画II」
平成18年7月4日(火)～8月6日(日) 「霊木化現平安の神と仏」
平成18年8月8日(火)～9月20日(水) 「知られざる佐賀の画家たち」
平成18年10月12日(木)～11月26日(日) 「岡田三郎助の傑作(薔薇)」
平成18年11月28日(火)～1月14日(日) 「豪奢の極み 秀吉の蒔絵風呂桶」
平成19年1月16日(火)～2月25日(日) 「金色の肌の光 光浄寺の日光・月光像」
平成19年2月27日(火)～4月8日(日) 「吉野山園屏風」
- 美術館 「肥前刀」** 会場：美術館1号A展示室 観覧料：無料
- 美術館 コレクション展・テーマ展示** 会場：美術館2号または3号展示室 観覧料：無料
平成18年4月14日(金)～5月28日(日) 「平成17年度新収蔵品展」/「野村昭嘉展」
平成19年1月1日(月)～1月28日(日) 「吉野ヶ里遺跡発掘20年」
平成19年3月2日(金)～4月8日(日) 「白雨コレクション展」/「石本秀雄展」

佐賀県立博物館・美術館報 第136号

平成18年3月25日

編集発行 佐賀県立博物館・美術館

〒840-0041 佐賀市城内1-15-23 ☎0952-24-3947 ☎0952-25-7006

ホームページアドレス <http://www.pref.saga.lg.jp/at-contents/kanko-bunka/k-shisetsu/hakubutu/index.html>E-mail hakubutsukan-bijutsukan@pref.saga.lg.jp

印刷 大同印刷株式会社